

橿形山 ～春編～（会山行）

(報告)FT

◎期日：2023年5月21日

◎メンバー：TM (L)、KM (SL)、IK、SM、TI、FJ、FT (報告)

橿形山の四季を愉しもう！との企画がはじまり、その第1回、春編に参加しました。

前日の20日は「釈迦堂遺跡博物館」見学がありましたが、あいにく所用があったためこれには参加出来ず、夕方宿に入りました。かつては前日に登山口付近に入る場合は、ほとんどがテント泊していたのですが、今回は温泉付の宿で、美味しい料理に冷えたビール！ 前夜から大満足です。

お開きになる前に、明日の登山についてリーダーより説明があり、ミーティング。県民の森を基点に「中尾根～北尾根」のロングコースと、みはらし台から「北尾根をピストン」するショートコースの2組に分けて登ることになりました。そして11時頃に「裸山」にて合流し、一緒に北尾根を下る、という計画です。ロングコース組のメンバーはTMさん、KMさん、FJさんの3名、北尾根のショートコース組はSMさん、TIさん、IKさん、FTの4名と決定しました。

そして朝6時、宿の玄関が開くのを待って、車にてそれぞれの登山口に向かいました。北尾根登山道のショートコースは、標高約1,300mの「みはらし台（見晴らし平）」がスタート地点で、ここまで舗装林道が通じていますが、ここに至る道はカーナビでは出ず、TIさんのスマホナビに案内されて、一度も迷わずに行けました。

駐車場の前の急な階段が北尾根の取り付きです。「熊に注意」の看板を見て、7時過ぎにスタートしました。裸山までのコースタイムは、みはらし台より約2時間ですが、登山道はいきなり急な階段からはじまります。SMさんを先頭にTIさん、IKさん、そして殿に小生の順で登りはじめましたが、女性二人はなかなか元気でペースが速いので、とてもついて行けません。「ゆっくり行きましょう。合流まで時間はたっぷりありますよ」と、殿よりプレーキをかけてしまいました。

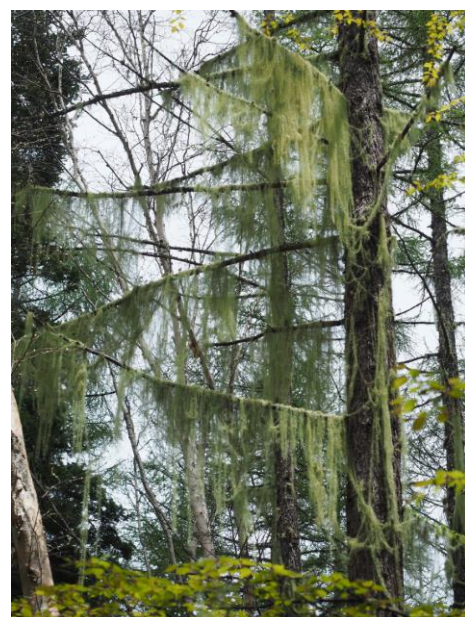
登山道は自然林の中に伸びており、前後に我々以外の人の姿が見えず、まことに静かです。しばらく登って行くと、サラサドウダンやミツバツツジが見られました。

皆さん写真を撮りながら登って行きます。登って行くにつれ霧が出てサルオガセをまとった樹が霧に覆われて、幻想的な雰囲気となり、とても良い感じです。やがて鹿の食害を防ぐためのネットが張り巡らされたアヤマ平に到着です。夏はアヤマの群落が見られることで有名ですが、今はまだその気配もありません。代わってシロバナエンレイソウやツバメオモトなどが見られました。

裸山まで10分の分岐に到着しましたが、裸山に行くには時間的にまだ早すぎることから、橿形山山頂方面へ少し散策することになりました。



みはらし台登山口（ショートコースのスタート地点）



サルオガセをまとった樹木



サラサドウダン



シロバナエンレイソウ 珍しい

天然記念物となってもおかしくないような巨木が何本もあり、とても見応えがあります。頃合いを見て、引き返して裸山に向かいました。

裸山には 10:35 到着です。標高 2,003m。本来は南アルプスや富士山などの眺望を楽しめるはずですが、あいにくガスが出て見えず残念です。昼食を食べ始めると間もなく、中尾根を登ってきた 3 名が到着しました。「やあ！やあ！」と全員から賑やかな歓声と笑顔！今朝、分かれたばかりですが、予定通り合流するのは嬉しいものです。3 名は県民の森をスタートして以来、一度も大休憩をとらなかったとのこと、驚きです。やはり皆さん、健脚です。



カラマツの巨木

長い休憩の後、さあ降りましょう！と歩きはじめたところ、一瞬ガスが張れて、富士山がうっすらと顔を出しました。「アッ！富士山が見えた！」と、皆さん戻って写真タイムとなりました。

アヤメ平でもゆっくり植物観賞タイムを取り、北尾根を降りはじめました。人の感覚はおかしなもので、登りの時はさほど急とは思わなかった登山道ですが、下りでは意外と急だと感じました。

みはらし台が近くなった分岐で、登りの時とは少し変化を付けたいと、違う道を選択しました。やがて眼下に林道が見えはじめ、間もなく林道に降り立つと、すぐ先がみはらし台・展望台で、乗ってきた我々の車が 2 台、待っていました。



裸山の山頂にはサクラも

天気良ければこの展望台からも富士山が綺麗に見えるはずですが、あいにくぼんやりとしていた。県民の森から中尾根を登ってきた3名は、ここから県民の森まで更に徒歩で下るといふ。「車で送りますよ」とお誘いしましたが、「山道を40分、車道を20分で着きますので歩きます」とのこと。徒歩で周回する方が達成感もあるだろうと、その思いを尊重することにしました。やはり中尾根を登ってきた皆さんはタフです。

北尾根をピストンした4名は、これより車にて帰途につきました。

櫛形山は標高2,000m程の山であるにも関わらず、サルオガセをまとった樹林帯や巨木などもあります。幻想的な深山の雰囲気があり、安らぎを覚えました。癒やされるなかなか良い山と思いました。



みはらし台から雲間に富士山

《北尾根ピストン組のコースタイム》

みはらし台（見晴らし平登山口）7:05→アヤメ平 9:25（休憩）9:40→櫛形山方面散策→裸山 10:35（昼食・中尾根組と合流）11:39→アヤメ平 11:55（休憩）12:10→見晴らし平登山口 13:10

《中尾根～北尾根組のコースタイム》

県民の森（中尾根登山口）7:09→林道分岐 8:22→ほこら小屋 9:31→櫛形山分岐 10:10→裸山 10:58（昼食・北尾根組と合流）11:39→アヤメ平 11:55（休憩）12:10→見晴らし平登山口 13:10→県民の森 14:12